

# 青北進路通信

## 第3号

### 2学年 第1回進路志望調査結果 (6月実施)

区分	今回		前回	
	人数	(%)	人数	(%)
国立大	31人	(15.9%)	33人	(16.8%)
公立大	30人	(15.4%)	35人	(17.9%)
私立大	51人	(26.2%)	50人	(25.5%)
国公立短大	0人	(0.0%)	0人	(0.0%)
私立短大	7人	(3.6%)	3人	(1.5%)
専修学校等	28人	(14.4%)	24人	(12.2%)
就職	46人	(23.6%)	49人	(25.0%)
未定	2人	(1.0%)	2人	(1.0%)
合計	195人		196人	

2年生は、それぞれの進路や適性に合わせて文型・理型に分かれ、新しいクラスで授業が始まっており、異なる選択科目を勉強しています。進学希望者は、進学先の受験科目や配点を比較して、自分の得意教科を生かせる学校を探したり、特に重点的に何に取り組む必要があるのかを自覚していく必要があります。弘前大学、青森公立大学、青森県立保健大学などの身近な学校を志望する人が多いですが、より自分に合った受験方法をとっている学校はないか、という視点からも進路研究してみましょう。また現2年生の特徴として、就職志望者が例年よりやや多く、そのうち39名が公務員を志望しています。秋から公務員学内講座も始まりますが、進学希望者よりも一足早く、部活動と両立しながら勉強していくこととなりますので、意識を高く持ちましょう。求人は好調で、売り手市場となっていますので、民間企業就職も視野に入れ、求人票を見てもいいでしょう。いずれの志望でも、授業を大切にしながら、基礎学力を付け、力を蓄えましょう。

### 【就職】7月1日 求人票公開始まる

民間就職の求人が、続々と進路指導部宛に届いています。求人票とは、仕事内容や雇用形態、勤務地や給与、福利厚生などの最も基本的で重要な情報が掲載されているもの(進路の手引p82～参照)で、それらを見比べて、自分にとって譲れない条件をもとに応募先を絞っていくのです。その後、夏休み中に会社・企業見学などに参加した後、応募先を最終決定して履歴書を書き上げ(8月13日頃までに)、9月16日以降に試験を受けます。夏休み中も出校して、履歴書作成や面接、作文練習などを行うことになります。早めに動きましょう。

※求人票は進路指導室前のPCからも検索できます。

7月5日ホテル青森で行われた高校卒業予定者企業説明会に15名が参加しました。参加企業の中から6社を選び、各ブースに分かれて詳しく聞きました。



### 【進学】総合型・学校推薦型選抜

#### 個別指導スタート



3年生の総合型・学校推薦型選抜受験希望者は、それぞれの志望に沿って個別指導希望の仮登録を行い、7月から順次志望理由書の作成と面接、小論文やプレゼンテーションなどの個別指導が始まります。国公立大は特に難易度が高く準備にも時間がかかるため、早めに全職員での指導をスタートし、それぞれの先生方が数名の生徒を受け持って、時間をかけて準備していきます。私立大学受験希望者は、担任の先生方と志望理由を作成した後、9月から全職員による面接、小論文の指導を開始します。日程は学校によって異なりますが、ピークは、総合型選抜が10月、学校推薦型が11月です。

関連する本を読んだり、関連する事柄について詳しく調べたり、必要なら体験活動や課外講座に参加したり・・・夏休み中はまとまった時間を取ることが出来る貴重な期間です。当然ながら、不合格になったら一般入試に挑戦する覚悟で、講習に参加し学力を高める努力も怠らず、頑張ってください。

### 【1学年】しっかり考えて決めよう 文理選択

そろそろ高校のペースに慣れてきたかな?という人が多いかもしれませんが、もう既に来年の文理選択を考える時期。先日説明会が行われ、希望調査、三者面談を経て、秋には文理選択が決定します。詳しく調べじっくり考えるためには、夏休みが絶好の機会。自分と向き合い、様々な視点から考えるためのヒントをいくつか紹介します。

- ◇「好きなこと」だけでなく「得意なこと」「やってみたいこと」「使命感、大きな価値を感じること」は何かについても考えてみよう。どんなことなら一生懸命取り組めそう?
- ◇社会問題で関心があることは何?総合的な探究の時間や新聞学習もヒントに。
- ◇「就きたい職業から考える」のではなく「自分の学んだことを軸の選択肢を広げる」のもアリ。「苦手だがその職業に必要なだから学ぶ」「得意を極めたらこんな仕事に就ける」どちらが頑張れるか?

実際に話を聞いたり、直接見に行ったりすることで、新しい気づきがあることも。写真右は青森公立大高大連携講座(7月6日42名が参加)、左は北海道警察説明会(7月4日31名が参加)の様子。色々な機会を活用しよう。





# 進路関連行事 実施報告

## 6月12日(月) 3学年進路講演会が行われました

「面接対策講座」(進学) 講師:株式会社ソーシャルデザイン研究所 横田 和典 氏  
「求人票の見方と履歴書の書き方」(就職) 講師:ジョブカフェあおもり 黒滝 幸男 氏

【進学】大学入試や企業の採用試験の試験官としての経験豊富な横田先生から「今求められている能力は何か」「どんな生徒が評価されるか」を例を示しながらご説明いただき、効果的な自己PRや志望理由をどのように作り上げるかについて聞きました。後半は3人の生徒が代表として壇上で模擬面接を行い、その様子を見ながら、より具体的なアドバイスをいただきました。以下はその内容の抜粋です。

- ・自分のやる気をアピールするためには、やる気を形にすることが大事。本を読むとか学びたいことを深く追究したことを具体的に示すこと。口先だけで「やる気あります」と何度繰り返しても意味がない。
- ・面接とは短い時間で人が人をジャッジする場。第一印象は6秒で決まり、それを覆すには2時間が必要と言われる。最初に好印象を与えることで、いい雰囲気の中でその後の応答もスムーズに進むもの。Good Cycle(良い循環)で回すためには、あいさつ、身だしなみ、普段からの立ち居振る舞いも大切に。
- ・見聞きしたニュースや最近の話題について、異なる視点から考え、メリット、デメリットを考えてみるようにしよう。思考力が付き、自分の意見をしっかり話せるようになる。

【就職】7月1日からの求人票公開を控え、企業比較の際のチェックポイントや、自分に合った会社選びのために何が 필요한のか、ご説明いただきながら考え、ワークシートに取り組みました。

- ・リフレーミングシートを使って、自分の短所や長所を詳しく知ることができて良かったです。自分が働く理由を見つけ、聞かれた時にしっかり答えられるようになりたいです。その仕事にどんな意義(役立ち)があるか、自分で見つけ出すことが大事だとわかりました。(生徒の感想文から)



話し合いの資料としてご利用ください。1、3年生には見方についてガイダンスも行われました。

## 6月24日(土) 保護者進路研修会(進学)が行われました

今年度は二部構成で、第1部では「本校での進学状況について」進路指導部主任から、第2部では「受験のしくみ、総合型・学校推薦型選抜について」外部講師の横田和典氏からという形で講演会を行いました。約80名の保護者にご参加いただき、実施後のアンケートでは「大変参考になった」「参考になった」という回答が90%以上を占め、高評価をいただきました。どちらの講演でも、日頃から保護者とコミュニケーションを取る大切さが強調されています。夏休み中を利用して、話し合いの機会を持ちましょう。

### 【保護者アンケートより】

- ・自分たちの時代とは大きく変わっているので、早いうちに聞いておきたいと参加しました。大変参考になりました。(1学年保護者)
- ・話に引き込まれて、自分の子どもより自分が受験したい気持ちになりました。(2学年保護者)
- ・シンプルで非常に理解できました。ありがとうございました。/ 説明、レジュメがわかりやすかった。(3学年保護者)



# 進路関連行事予定

- 7月20日(木) 「医療・福祉」探究学習フェア 【外部会場:青森市男女共同参画プラザ】
- 7月26日(水) 2学年マイナビ進学ライブ 【外部会場:全員参加】
- 7月24日(月)~28日(金) 1~3学年夏期講習 \*3学年は8月4日(金)まで
- 8月 5日(土)~6日(日) 3学年全統共通テスト模試
- 8月 8日(火) 1学年弘前大学・弘前医療福祉大学オープンキャンパス 【全員参加】
- 8月17日(木)~18日(金) 1~3学年夏期講習  
\*3学年は15日(火)から開始
- 9月12日(火) 1、2学年職業人講話 【本校会場】



## ●オープンキャンパスに行こう●

コロナ禍で縮小開催されていた各学校のオープンキャンパスが、ほぼ通常通りの日程、規模で開催されています。複数の学校を比較し、本当に行きたい学校を見つけるためには、3年の夏になってから行くのでは遅すぎます。また、進学後のイメージが具体的にになり、勉強のやる気UPにもつながることも。各学年の掲示板や Classroom(2学年)でも情報提供しています。

## 卒業生の活躍 ~現場で活躍する先輩~

本校のスローガン 新時代 北高 is shining 一人一人が輝くために

今回は、平成28年度卒業生で看護師として医療現場で活躍している高橋璃香(たかはしりこ)さん。日本赤十字社青森県支部の支部推薦に合格し、看護学生として奨学金をもらいながら日本赤十字秋田看護大学を卒業し、現在は八戸赤十字病院の脳神経外科病棟に勤めています。当時担任だった齋藤美子先生によると、彼女が看護師を目指したきっかけは、2年生の修学旅行で体調を崩した時に、同行してくださった看護師さんにお世話になったこと。細やかな心遣いと温かな人柄、適切な処置に助けられ、最終日のUSJでは友人達と楽しむことができました。とても頑張り屋で、難関を突破して大学で学び、大変な医療の現場で立派に看護師として働いています。2024年度の日赤秋田看護大学の学校案内に、卒業生を代表する一人として紹介されています。



主に脳卒中の患者さんに急性期治療を行っています。入院時麻痺や失語のある方々が多く、治療を行ったりハビリを進めていくことで症状が改善し、笑顔になる姿を見ることが一番のやりがいになっています。(学校案内より抜粋)